磐田市議会だより

いわた羅針盤

ら しん ばん

2020年
12月号
12/1発行
No.78
令和2年9月定例会

特集
消費生活相談員の活動

CONTENTS

P2　特集　消費生活相談員の活動
P4　9月定例会議案審議
P8　委員会審査
P11　一般質問（13人）
P18　トピックス①
P19　トピックス②・インフォメーション
P20　審議結果　ほか

特集 消費生活相談員の活動

市役所本庁舎１階にある市民相談センターでは国家資格を持つ消費生活相談員が、市民の皆さんの消費生活に関する相談にあたっています。

今回の特集は、消費生活相談員２名の方に、役割や実際の相談事例などについてお話を伺いました。

（聞き手：市議会総務委員会　山田安邦委員長、秋山勝則副委員長）

新型コロナの影響でインターネット関連の相談が増えています

――相談員の活動内容や役割を教えてください。

電話や窓口で消費者に事業者とのトラブルの解決方法を助言したり、必要に応じて事業者側との交渉のお手伝いをしたりします。また、放課後児童クラブなどで子どもたちへお金にまつわるお話しをしたり、高齢者サロンで最近の相談事例を紹介するなどの啓発活動もしています。

上田（うえだ）相談員

――新型コロナウイルス感染症の影響によって増えた相談はありますか。

伊藤（いとう）相談員

自宅で過ごす機会が増えたことで、空いた時間を活用しようと副業サイトを利用し、トラブルに遭ったという相談が増えました。ネットで検索して、サイト登録したところ、事業者から「副業で利益を得るためには、サポート契約が必要である」「すぐに儲かって取り戻すことができる」などと勧められて契約したが、実際は儲からず、どうすればよいかといった事例がありました。また、子どもも家でゲームをする機会が増え、熱中するあまり、親に隠れて高額な課金をしてしまった事例もあります。

トラブルがあった場合や不安に感じた場合は、早めに消費生活センターにご相談ください。電話番号は全国共通の１８８（いやや）で、続けて郵便番号を押すとお住いの地域の消費生活センターへつながります。

――課題と感じていることはありますか。

相談員の高齢化や担い手が不足していることです。国も取り組んでいますが、募集しても集まらず、難しい現状があります。

また、制度的な課題と感じるのは、ネット通販などの通信販売にクーリング・オフ※が適用されないことです。例えば、通販サイトで「お試し１００円！」の表示があって購入したところ、小さく定期購入の条件が記載されていて、２回目以降、定額となり思いもよらない金額を支払うことになってしまったという事例があります。その場合、途中解約したくても事業者が広告に記載してあると主張して、なかなか応じてくれません。クーリング・オフは、訪問販売や電話勧誘など不意打ち的に契約した時、冷静に考え直す時間として設定されています。広告を見て消費者が注文する場合は対象外になります。しかし、表示方法に疑問が残る場合もあり、今後、制度改正などでクーリング・オフの対象になってほしいと思っています。

――被害を防止するために市民の皆さんへ伝えたいことはありますか。

電話は必ず誰からの電話か確認してから出ていただきたいです。留守番電話の設定をして相手を確認したり、ナンバーディスプレイの利用がおすすめです。また、契約行為は双方の合意で締結しますので、解約も双方の合意が原則になります。契約する際は、料金の安さだけでなく、条件など内容を確認してから判断してください。

電話は必ず相手を確認してから出てください

相談の様子

――その他にもいろいろなお話しをさせていただきました。消費者をめぐるトラブルは年々、巧妙・複雑化しています。一人で悩まないよう、このような相談窓口があることを継続的に市民に広報していく必要があると感じました。ご協力いただきありがとうございました。

※クーリング・オフ……申し込みや契約の締結をした場合でも、一定の期間であれば無条件で申し込みの撤回、契約の解除ができる制度

消費や契約に関する苦情やトラブルの相談窓口

磐田市消費生活センター
（磐田市役所本庁舎１階市民相談センター内）
☎ 0538-37-2113
月曜日～金曜日
（祝日及び年末年始を除く）
8:30 ～ 17:00
（最終受付 16:00）

磐田市でもこんな相談があります！！

- ●電話で不用品を買い取るというので、家に来てもらったが、強引に貴金属を買い取られてしまった。
- ●台風などの自然災害の後、事業者が突然来訪し、「保険金を使って修理ができる。保険会社の申請も代行する」と言われ応じたが、保険会社から支払われた保険金の４割を報酬として請求された。
- ●裁判所から訴えられた旨の文書が封書で届き、慌てて確認の連絡をしたところ、解決するためには、弁護士費用が必要と言われてしまった。

令和２年
9月
定例会

議案審議

会期　9月10日～10月13日（34日間）

９月定例会の模様は、インターネットで録画配信しています。
磐田市議会　配信　検索
クリック

令和元年度各会計決算を審議

９月定例会では、一般会計をはじめとした元年度各会計決算 13 件、一般議案 14 件、人事案件１件のほか、議員発議の決議１件、意見書１件を審議しました。

なお、すべての議案の審議結果は最終ページに掲載しています。

会派名の表記（人数）
※令和２年 10 月 13 日現在
「志」志政会（12）、「新」新磐田（4）、
「き」きずなの会（4）、
「共」日本共産党磐田市議団（2）、
「公」公明党磐田（2）、
「社」社民・明るい暮らしの会（1）

認 第１号　元年度一般会計決算

賛成多数で認定

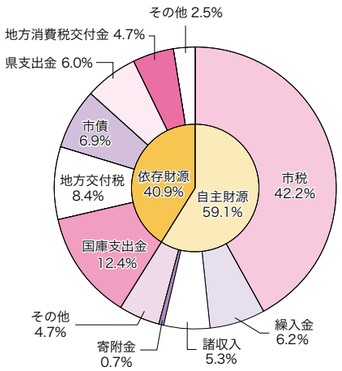
一般会計決算額は、歳入が667億5011万5千円、歳出が656億2094万9千円となり、差引額11億2916万6千円、2年度に繰り越す財源を控除した実質収支額は、8億7677万7千円の黒字となりました。

（賛成：志・新・き・公・社　反対：共）

【決算額内訳】

歳　入

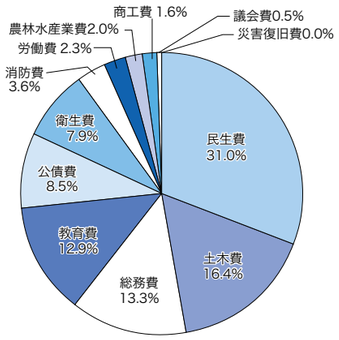
667億5,011万5千円



歳入決算額は、小中学校空調整備による国庫補助金の増額などにより、平成30年度と比べ約１億５千万円の増となりました。財源内訳は、自主財源が59・1％、依存財源が40・9％となりました。

歳　出

656億2,094万9千円



歳出決算額は、平成30年度と比べ約15億３千万円の増となりました。優先施策に基づき、こども園の施設整備への補助、橋梁の補修・長寿命化の推進、海岸堤防の整備推進、御厨駅の設置推進、救助工作車の更新、ながふじ学府一体校の建設工事の着手等を実施しました。

主な財務指標（　）内は前年度の数値

●財政力指数 0.852（0.849）

標準的な行政活動に必要な財源をどれだけ自力で用意できるかを表します。1.0を超えると財政基盤がしっかりしていると判断され、地方交付税が交付されません。

●実質収支比率 2.3%（4.4%）

自治体の財政運営の健全性を表します。実質収支が黒字ならば正数、赤字ならば負数で表されます。

●経常収支比率 86.6%（85.4%）

市税など毎年ほぼ変わらず収入される財源のうち、人件費、扶助費など毎年支出する経費にどれだけ充てているかを表します。

一般会計決算に対する討論がありました

反対

特性を生かした地域づくりを

幼稚園、保育園の民営化が具体的に進められているが、福祉、教育、環境に関わる施策はコストのみで図ることはできない。公立保育園、民間保育所のそれぞれの特性を持った保育所が地域にあることにより、地域全体の保育水準の向上が図られるものと考える。

４つの子育て支援センターの閉鎖を1年凍結することに決めた背景には、閉鎖を決定する上で事前に利用者の声を聞くことや、運営法人との協議が十分でなかったことが考えられる。

小中一貫校の施策のもとに、施設分離型から施設一体型にしようとしている。学府一体校構想は、地域の教育力の衰退、子どもの長時間通学、いざというときの安全面の不安などデメリットがある。子どもの教育を後退させ地域の存続を危なくする学府一体校構想ではなく、小規模校であっても地域に残して充実させ、地域づくりを進める取組が必要だと考える。

日本共産党磐田市議団　高梨俊弘　議員

賛成

地域、現場の声を捉え推進を

公立幼稚園・保育園の民営化においては、人口減少社会、夫婦共働き世帯増加による保育の量的拡大や多様化する保育ニーズ、柔軟で迅速な運営を行う必要があるという観点から、令和元年度の子育て支援施策や民営化の方向性を理解するところである。

子育て支援センター４施設廃止とその後の撤回など一連の経緯は、地域子育て支援センターの配置計画の事前調査や進め方に課題があったと考える。利用者や委託先、現場の声をしっかりと捉え慎重な事業展開を期待したい。

学府一体校については、今後、多くの学校施設の建て替えや少子化が続いていく中、９年間のカリキュラムを持つ小中一貫教育、地域に開かれた新たな学校を築いていくことは必要なことであると考える。引き続き新たな時代に向け、地域の強みを生かした学府一体校を、地域一体となって地域とともに進めていただきたい。

志政会　秋山勝則　議員

元年度 各会計決算

一般会計

会計名	歳入	歳出
一般会計	667 億 5,011 万 5 千円	656 億 2,094 万 9 千円

特別会計

会計名	歳入	歳出
国民健康保険事業会計	171 億 4,967 万 8 千円	168 億 5,473 万 8 千円
後期高齢者医療事業会計	18 億 9,025 万 0 千円	18 億 8,555 万 3 千円
介護保険事業会計	128 億 1,352 万 1 千円	124 億 3,977 万 8 千円
その他の特別会計※	8,217 万 2 千円	8,083 万 6 千円

※その他の特別会計には、駐車場事業、４財産区の各特別会計の合計額を記載しています。

企業会計

（税込み）

会計名		収入	支出
水道事業会計	収益的収支	30 億　326 万 6 千円	25 億 6,607 万 7 千円
	資本的収支	6 億 6,990 万 1 千円	17 億 5,064 万 6 千円
下水道事業会計	収益的収支	70 億 1,048 万 8 千円	61 億 3,402 万 9 千円
	資本的収支	18 億 2,214 万 2 千円	40 億 3,102 万 4 千円
病院事業会計	収益的収支	167 億 6,553 万 4 千円	173 億 1,173 万 0 千円
	資本的収支	12 億 5,609 万 0 千円	18 億 5,003 万 4 千円

収益的収支・・・収益的収入は、水道事業の水道料収入、下水道事業の下水道使用料収入、病院事業の入院・外来の診療収入などをいいます。
収益的支出は、職員給与や材料費、光熱水費などをいいます。
資本的収支・・・主に施設を整備・拡充するために必要な経費と財源をいいます。

発議 第2号

「新型コロナウイルス感染症を、市民みんなで力を合わせ乗り越えていく決意」を市民に呼びかける決議

全会一致で可決

本定例会では、市民が意識をひとつにして、みんなで力を合わせて新型コロナウイルス感染症を乗り越えていくことが必要と考え、市議会の意思表示として、『新型コロナウイルス感染症を、市民みんなで力を合わせ乗り越えていく決意』を市民に呼びかける決議」が全議員から提出されました。

「新型コロナウイルス感染症を、市民みんなで力を合わせ乗り越えていく決意」を市民に呼びかける決議

新型コロナウイルス感染の拡大が進み、かつて経験したことのない未曾有の事態に直面している。

今後、さらに感染拡大が進む中で、改めて「地域医療を崩壊させない為」感染症そのものを食い止め、明るい兆しを強めていくには、磐田市民一人一人の意識が重要となる。

また本議会としては、市民が安心して暮らせるよう、検査体制をはじめ、医療保健体制の充実・強化等を執行機関に強く要望していく必要がある。

現在、感染者やそのご家族に対する誹謗中傷、インターネット上での悪質な書き込み等が全国的に後を絶たない。そして医療・介護関係者を始めとして、社会生活を支えてくれている多くの関係者やその家族に対する差別・偏見、いじめ等も社会問題となっている。人権はいかなる場合でも尊重されるべき基本的な権利であり人権侵害は決して許されるものではない。磐田市内での感染者の発生において、不安に思う市民もいると考えるが、誹謗中傷を恐れて有症者が検査を受けなければ、さらに感染を拡大させる要因となる。

また、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化し、地域経済への大きな影響が懸念される。生活の基となる経済活動については３密対策等を確実に行い、感染症に対応しながら経済を回復させていかなくてはならない。

この社会状況の中で、子ども達は、今まで休校休園もあり夏休み期間を短くしながら学業に頑張ってきた。子ども達にとって、人生の中でこの経験は大きな出来事である。いかなる状況の中でも学びを続け将来の礎を築く中で、今こそ友達や周りの人を大切にし、元気に生活を送ることを応援していく必要がある。

新型コロナウイルス感染症の対応は、市民の意識をひとつにして、みんなで力を合わせ、この難局を乗り越えていく必要がある。

よって、下記のとおり表明する。

記

1　新型コロナウイルス感染症を理由とした偏見や不当な差別、いじめは決してあってはならない。基本的権利である人権を尊重すべく、市民が感染症に対する正しい理解を持ち、互いに支え合い、励まし合えるよう行動すること。

2　市民みんなで３密対策等を確実に実施し、一人一人の注意や意識を高め感染症リスクに対応しながら、生活の基となる地域経済を回復させていく必要があること。

3　子ども達はいかなる状況の中でも学びを続け、今だからこそ友達や周りの人を大切にし、元気に生活を送る事が出来るよう市民一丸となって応援していくこと。

4　新型コロナウイルス感染症に対し、磐田市民の意識をひとつにして、みんなで力を合わせ、この難局を乗り越えていくこと。

以上、決議する。

令和２年９月１０日

磐田市議会

趣旨

新型コロナウイルス感染症を理由とした誹謗中傷や差別・偏見、いじめ等が全国的に社会問題となっている。この社会問題は、地域社会の対応により起こるものであり、子ども達が影響されていく。

市の今の状況を踏まえると、市民が意識をひとつにして、みんなで力を合わせて乗り越えていくことが必要と考え、市議会の意思表示として、市民に呼びかけるものである。

議案 第90号

2年度一般会計補正予算（第5号）

全会一致で可決

この補正予算は、歳入歳出予算の追加及び地方債の変更であり、歳入歳出予算それぞれに31億1471万2千円を追加し、総額を888億5664万円とするものです。

補正予算の主な内容

- 磐田市急患センターの施設改修経費の追加
- 小中学校や子育て支援センター等における感染予防対策に係る保健衛生用品等の購入に要する経費の追加
- 高齢者のインフルエンザ予防接種の接種勧奨に伴う経費の追加
- 中小企業等が行う人材確保や販売力強化等に対する補助金の追加
- 証明発行等窓口におけるキャッシュレス決済の導入に要する経費の追加
- イベントの中止などに伴い、予算執行が不要となったものの減額
- 海岸堤防整備に対する寄附金の受け入れ及び基金への積み立ての増額
- 静岡県からの委託事業として実施するモデル日本語教室の設置・運営に要する経費の追加
- 国庫補助金の交付決定に伴う、幹線道路整備などに要する経費の増額

本会議での主な質疑

問　高齢者のインフルエンザ予防接種を勧める具体策は。

答　広報いわたで周知していくとともに、ポスター等により市職員等が高齢者の集まる機会などに出向き呼びかけていく。また、医療機関を受診する高齢者に接種を呼びかけてもらえるよう医師会にも働きかけていきたい。

問　新商品開発販路開拓等への支援の仕組みと期待する効果は。

答　補助を受けようとする事業主が事業計画書等を提出し、事業実施後に補助対象となる経費を確認の上、事業者に補助金を交付する仕組みである。期待する効果は、一般消費者に向けた新商品等の開発や新たな販路開拓への取組を後押しできることである。

問　茶生産者の経営状況は。

答　遠州中央農協と市内36の全茶工場を訪問し、摘採期の天候不順やコロナ禍の影響により一段と厳しい経営状況であると聞いている。

発議 第3号

「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を国に提出

全会一致で可決

市議会は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源を確保するよう、国に意見書を提出しました。

（意見書提出先）内閣総理大臣ほか6大臣、衆・参議院議長

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延し、わが国は、戦後最大の経済危機に直面している。地域経済にも大きな影響が及び、本年度はもとより来年度においても、地方税・地方交付税など一般財源の激減が避けがたくなっている。

地方自治体では、医療介護、子育て、地域の防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応をはじめ、長期化する感染症対策にも迫られ、地方財政は巨額の財政不足を生じ、これまでにない厳しい状況に陥ることが予想される。

よって、国においては、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、下記事項を確実に実現されるよう、強く要望する。

記

1　地方の安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。その際、臨時財政対策債が累積することのないよう、発行額の縮減に努めるとともに、償還財源を確保すること。

2　地方交付税については、引き続き財源保障機能と財源調整機能の両機能が適切に発揮できるよう総額を確保すること。

3　令和2年度の地方税収が大幅に減収となることが予想されることから、思い切った減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても、地方消費税を含め弾力的に対応すること。

4　税源の偏在性が小さく、税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策税制については、積極的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性を厳格に判断すること。

5　とりわけ、固定資産税は、市町村の極めて重要な基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは、土地・家屋・償却資産を問わず、断じて行わないこと。先の緊急経済対策として講じた特例措置は、臨時・異例の措置として、やむを得ないものであったが、本来国庫補助金などにより対応すべきものである。よって、今回限りの措置とし、期限の到来をもって確実に終了すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

委員会審査

議会では、委員会を設置し議案を詳細に審査しています。
その内容の一部をお知らせします。

予算決算委員会

■委員長：草地博昭　■委員：議長を除く全議員
■副委員長：根津康広

元年度一般会計歳入歳出決算

【歳入11款　交通安全対策特別交付金】

問 減額した理由と交付金の使途は。

答 交通事故件数が、30年度の3007件から元年度は2895件に減少したことにより、交付金も減額となった。使途は道路安全施設の設置や管理である。

【歳入12款　分担金及び負担金】

問 児童福祉費負担金の収入未済の内容は。

答 未収金の内訳は、私立保育園の現年度分147万5700円、公立保育園の滞納繰越分37万2702円、私立保育園の滞納繰越分336万3773円で合計521万2175円となり、いずれも市でまとめて徴収をしている。

【歳入16款　財産収入】

問 天竜農場の県からの買取り単価と今回の売却単価及び一部売却の理由は。

答 県から市が取得した金額が1㎡472・5円になる。この単価により、市から農業法人に売却を行っている。農業法人から企業ニーズを反映した研修に充実を図り、当初計画より農業参入と農地取得の時期を早めて、次世代型農業と研修生の受入れに取り組みたいとの申出があり、市としては農業の活性化と天竜農場のさらなる活用が期待できると考え、一部売却を行った。

【歳出2款　総務費】

問 元年度の台風19号における対応状況と課題は。

答 29カ所避難場所を開設し、そのうち23カ所について避難者があった。2日間開設したため、交代職員を派遣し、職員の負担軽減を図った。課題は、特定の避難場所に避難者が集中してしまうことであり、適切な避難の仕方などを啓発していきたい。

【歳出3款　民生費】

問 こども・若者相談センターの設置前後の変化は。

答 設置前、設置後で子どもたちの支援に関して変わったところは、教育委員会とこども部との連携が強くなったことである。また、現役の教師がケースワーカーとして、こども・若者相談センターに入り、気にかけて見なければいけない子どもの情報のやり取りが非常にスムーズになり、一緒に連携して行動できるようになった。小学校、中学校の9学年に対して、非常に厚く見守りできるようになったと実感している。

こども･若者相談センター

【歳出4款　衛生費】

問 急患センターの看護師の確保状況は。

答 市内の開業医とのダブルワークの方が多く、開業医の都合もあり、長く勤める方が少ないため、常に看護師の確保が課題となっている。インフルエンザや年末年始など風邪がはやる時期は、患者が増え、看護師の不足となり、登録制で、単発的に手伝える看護師がカバーしている。

磐田市急患センター

【歳出5款　労働費】

問 障がい者や若者就労支援の対策は。

答 障がい者については、福祉課と連携を取り、実際に障がい者雇用の受入れをしている企業と、受入れをしたい企業が集まったセミナーや意見交換会、交流会などを開催した。若者就労支援については、働きたくても働けない若者のためのサポーター養成研修や、実際に悩んでいる親向けのセミナーを開催した。

【歳出6款　農林水産業費】

問 農地移動適正化あっせん事業の詳細は。

答 売買の成立5件、うち田5筆、樹園地9筆の合計1・5ha強の成立となっている。農地の所有者と担い手農業者を、農業委員会があっせん委員会を行い、そこで結びつけを行ったものであり、成立したものに関し、税制猶予がある。

【歳出7款　商工費】

問 中小企業等承継支援事業の成果と課題は。

答 市内の金融機関及び商工会、商工会議所、税理士会の方とネットワークを組み、年2回情報交換会を開いたことで、市内の事業者の状況把握ができた。候補者の選定から育成、株式や事業者の資産の譲渡など、様々な問題があり、承継には数年かかるため、早めに後継者を考える必要があることに、気づいていただくことが一番の課題である。

【歳出8款　土木費】

問 建築物等の耐震化の現状と課題は。

答 木造住宅の耐震化に関しては、平成30年の住宅土地統計調査の耐震化率が90・4％であり、前回、平成25年調査の80・7％から10％近く上昇した。しかし、まだ耐震化されていない建物が約5300棟あるので、引き続き、周知啓発に努めていく。

【歳出9款　消防費】

問 消防署の新型コロナウイルス感染症対策は。

答 装備や消毒機材を積極的に整備したり、看護師から消毒方法を教えてもらうなど、様々な方法で救急隊の感染防止を図りながら、市民の救急活動に対応している。

【歳出10款　教育費】

問 ながふじ学府一体校の進捗状況は。

答 3月末の時点で建設工事が24％、全体で18％の進捗で、通学路は、関係する自治会長や地区長と協力をして、道路規制要望を提出した。周辺への周知は、工事開始前に建設に関する説明会を3回開催し、工事や計画について連絡してきた。

総務委員会

■委員長：山田安邦　■委員：江塚学、草地博昭、寺田辰蔵、髙田正人
■副委員長：秋山勝則　高梨俊弘、岡　實

市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

問 条例の規定を7月8日から適用した理由は。

答 PCR検査場の開設日まで遡って適用するためである。

問 消防救急隊員の新型コロナウイルス感染症対応に該当する基準は。

答 支給対象は、陽性と判明している者と保健所が濃厚接触者と認定をしている者を搬送した場合に限っており、疑い者の場合は該当しない。また、作業に従事した場合は、一律4千円支給する運用を考えている。

救急隊員による患者搬送訓練の様子

民生教育委員会

■委員長：鈴木喜文　■委員：小池和広、鈴木正人、絹村和弘
■副委員長：鳥居節夫　加藤文重、松野正比呂、根津康広

財産の取得（ながふじ学府一体校校内備品）

問 備品の主なものは。

答 新設のランチルームで使うテーブル、椅子である。また、地域連携室やLD等通級指導教室の机や椅子などの他、作り付けの家具で新しい校舎に移設できないものが、教室、職員室、理科室、被服室、準備室等の戸棚と、児童生徒等用の傘立てが主なものである。

問 既存備品の活用は。

答 職員室での事務机、椅子、教室での児童生徒の机や椅子、利用可能なスチール製の書庫や棚、特別教室の木製の椅子、体育館のパイプ椅子、教室用の大型モニター等、新校舎で利用できるものは、全て移設する計画を立てている。

委員会審査

予算決算委員会

元年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

ながふじ学府一体校建設の様子
（2年10月末現在）

問 保険者努力支援制度の交付金の状況は。

答 後発医薬品の促進の取組などの共通指標と収納率向上の取組など、国保固有の指標に、さらに個別事業の実施状況が評価され、元年度は、一人当たりの交付金が県下市町の中で2番目であった。

元年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

問 保険基盤安定繰入金の低所得者軽減の状況は。

答 8・5割軽減が4638人、8割軽減が3146人、5割軽減が2913人、5割軽減の被扶養者軽減が107人、2割軽減が2878人となっており、軽減を受けている方が約57・7％である。

元年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算

問 認知症初期集中支援チーム設置による支援等の状況は。

答 元年度2件あり、認知症の人が家族と意思疎通が取れないため、地域包括支援センターが関わって対応したが受診につながらず、初期集中支援チームとして、新たな切り口で介入し、受診につなげ介護保険の申請にもつながった。

元年度水道事業会計決算

問 元年度の管路更新の状況と評価及び漏水の状況は。

答 基幹管路の耐震化率は79・9％、全体の耐震化率は21・6％となる。漏水は297件発生した。元年度の基幹管路更新の目標値88・1％に対し、実績値79・9％で若干遅れているが、目標と定めた4年度に向け進めていく。

元年度下水道事業会計決算

問 雨水ポンプ場施設の老朽化に伴う改修や更新の状況は。

答 大島排水ポンプ場の基本設計と詳細設計を発注し、繰越して実施している。今之浦第2ポンプ場と第3ポンプ場は、耐震診断を発注し、繰越して実施している。

元年度病院事業会計決算

問 医師が9名増えた理由は。

答 2024年の働き方改革に向けて病院も取り組まなくてはいけない。基本的には、手術件数が大幅に伸び、それを見込んで医師を確保している。若い世代の医師を確保する意味で、前年度より増やしたことが、医師数の増員につながっている。

議案採決の流れ

本会議

- **議案上程**：議案を会議の議題とし、審議の対象とすること。
- **説明**：提出された議案について、提出者が提案理由及び内容等を説明すること。
- **質疑**：提出者に疑義をただすこと。

委員会

- **議案審査**：各委員会が分担して議案を専門的、詳細に審査すること。

本会議

- **委員長報告**：委員長が、委員会での審査の経過及び結果を報告すること。
- **質疑**：委員長報告の内容について、委員長に対し、議員が疑義をただすこと。
- **討論**：議案について、議員が反対あるいは賛成の意見を表明すること。
- **採決**：多数決によって、議案に対する議会の意思を決定すること。

市政を問う

一般質問 要旨

一般質問とは？

個々の議員が、市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。
９月定例会では 13 人の議員が一般質問を行いました。
発言した順番で主な内容をお知らせします。

一般質問は内容を要約して掲載しています。
詳しくは、インターネットの録画映像でご覧いただけます。 磐田市議会　配信　検索（クリック）

磐田市の医療・福祉の推進について／磐田市の諸課題について

一括質問

志政会　秋山勝則　議員

医療・福祉の推進

問 介護予防の取組やフレイル予防[※1]における検討状況は。

答 いきいき百歳体操等の取組と、2年度は認知機能の維持・向上を目的に体操のDVD作成や口腔・認知機能低下予防の事業を推進していきたい。コロナ感染症予防の外出控え増加の中、フレイル予防は一層重要となるので、早期の取組を推進し後期高齢者で健診の結果、支援が必要な場合には個別訪問を行っていく。

諸課題

問 静岡大学による万瀬財産区との連携事業に至った経緯、取組内容、期待される効果は。

答 元年6月の万瀬財産区との意見交換の中で、将来の区有林の維持管理に不安の声があり、市職員が静岡大学に区有林の活用を相談したところ、前向きな回答を得られ、2年7月、同大学理学部と区有林の活用に関する覚書を締結した。取組内容は、協定対象の森林を研究・教育活動に活用すること、災害に強く管理しやすい森林にすることを目的に、作業道の整備、落葉広葉樹の伐採、毎年、定期的な樹木や生物多様性の調査などの実施が予定されている。期待される効果は、持続可能で効率的な区有林管理を実現することに加え、学生との交流による地域活性化、さらに企業との連携による区有林活用にまで発展することである。

問 コロナによる修学旅行中止時のキャンセル料及び企画料支援の考え並びに直前の中止に伴う誹謗中傷対策は。

答 支援を検討していく。キャンセル料がかからない段階で判断するが、突然の感染でキャンセル料が発生し子どもが個人的な攻撃を受けないように緩和対策をしていきたい。

スポーツの振興／防災教育／「特別の教科　道徳」について

一括質問

志政会　鳥居節夫　議員

スポーツの振興

問　水銀灯の製造が原則禁止される。屋外のナイター設備をLED化する計画を伺う。

答　現在使用している水銀灯の製品供給などを勘案し、LED化に係る予算の平準化を図りながら実施していきたい。

問　静岡SSU[※2]アスレジーナへの支援内容と期待を伺う。

答　試合会場の優先予約、広報いわたやホームページによるチーム紹介、試合開催日の告知等を支援したい。地元チームの活躍は市民に大きな感動をもたらすため、上位リーグへの躍進を期待している。

小中学校での防災教育

問　各小中学校の地域特性による防災教育の現状や課題は。

答　土砂災害や津波等を想定した避難訓練等を行っている。課題は訓練内容の理解や知識の定着だけでなく、対応力・実践力が身に着けられるよう内容を工夫することである。

問　7月30日の緊急地震速報発令後の各小中学校の対応と課題に向けての対応を伺う。

答　状況把握を行い、今後に生かすよう指導した。学校外の同報無線の1カ所に設備の不具合があり、早急に対応し改善した。今後、確実に受信できるよう関係機関と連携し対応したい。

同報無線

特別の教科　道徳

問　新型コロナウイルス感染症に対する授業を通し、子ども達の受け止めや感想を伺う。

答　初めは「感染した人には怖くて近づきたくない」との感想もあったが、友達との意見交換等で、差別や偏見を自分のこととして受け止められるようになり、授業終了後には「差別は絶対にしない」、「かかった人を励ましたい」「医療従事者に感謝したい」等の感想があった。

市街地の活性化について

一括質問

志政会　小柳貴臣　議員

問　今之浦市有地・公園と磐田・豊田町・御厨駅のJR3駅間の新たな回遊性を伺う。

答　JR3駅の利便性を本市の強みとして、今之浦市有地・公園だけでなく、周辺施設も含め線で結ぶことで回遊性が図られればと願っている。

問　今之浦市有地・公園と第2次総合計画における文化の振興と歴史遺産の整備、活用との関連を伺う。

答　本市には遠江国分寺跡をはじめ、多くの歴史遺産があり、これらを活用することが重要と考える。今之浦市有地整備を1つの契機として、地域ごとの文化財情報パンフレットの見直しを行う。また、QRコードを利用した近隣の文化財情報への簡潔なアクセスや観光協会と連携してイベントを実施するなど回遊性の向上に努める。

問　今ノ浦川や安久路川等の増水で災害が心配されている。今之浦市有地・公園周辺の防災対策の現状と今後について伺う。

答　防災対策は、市全体の取組の中で対応している。治水対策は、河川管理者である県へ、しゅんせつや雑木などの伐採等適正な維持管理を継続して要望している。

今之浦市有地･公園の整備の様子
（2年9月末）

問　本市のレンタサイクルの現状とシェアサイクルの見解について伺う。

答　リベーラ磐田市営駐車場で、指定管理者が自主事業としてレンタサイクルを実施しているが、利用実績が少なく、あまり活用されていない。シェアサイクルはレンタサイクルより利用しやすくしたもので、都市部などの一定条件下では高い需要が見込まれるが、現在のところ、本市での実施は考えていないが実現の可能性について検討していく。

人づくり・地域づくりについて／公共事業・公共交通について

一問一答

新磐田　松野正比呂　議員

人づくり・地域づくり

問　未来のまちづくりを担う人づくりの考えは。

答　市役所は使命感をもった現場に強い人材が、地域には助け合い、協力し合う思いやりと自立の意識を持った人材が求められていると考える。

問　民間との人材交流や有識者の招致を実施する考えは。

答　企業との交流研修は過去に実施しており、外部の有識者の任用なども行っている。今後も十分に考慮していく。

問　高齢者の介護予防等の現状認識と今後のあり方等は。

答　いきいき百歳体操は、立ち上げの際に保健師が活動支援した後は自主的に運営されている。引き続き、地域での自主的な活動が広まるよう機運の醸成に努めたい。

いきいき百歳体操

問　（仮称）協働のまちづくり基本条例の理念と骨子は。

答　市民が自らのまちは自らの手でつくるという意識のもと、持続可能な地域活動を目指し、地域力の維持向上を図る思いを織り込みたい。

公共事業・公共交通

問　公共施設総合管理計画の進捗管理と検証の市民への提示及びインフラの考え方は。

答　現在、個別計画の策定を進めており、今後、見える化の手法を検討していく。道路については、真に必要な路線の整備を除き、適正な維持管理に方向を転換していくことが重要と考える。

問　超高齢化社会を想定した公共交通体系の構築の考えは。

答　今後もデマンド型乗合タクシーの利便性向上を最優先で取り組むが、デマンド型乗合タクシーで全部賄えるとは考えておらず、地域のボランティアや企業との連携を含めて、新たな公共交通体系の可能性を研究していく。

新型コロナウイルス感染症について

一括質問

公明党磐田　江塚　学　議員

問　特別定額給付金の給付状況について伺う。

答　早期申請の受付、未申請への督促状郵送や訪問等を行い、6万8828世帯、16万9541人に給付した。世帯の給付率は99・5%、人口の給付率は99・8%となった。

問　臨時交付金の使途計画及び今後の取組を伺う。

答　休業要請協力金事業、磐田プレミアム商品券事業、ふるさと磐田学生応援事業等幅広く支援が行き渡ることを考慮し、9月定例会を含め補正予算を提出した。現在、追加の支援事業等を検討している。

いわた応援チケット

問　具体的な計画のため地域未来構想20活用の取組を伺う。

答　将来の感染症リスクに対しても、地域の社会経済構造を強靭なものに改革することを推進するため、事業を検討する際の参考にしている。

問　新型コロナウイルス感染症による、事業の変更や見直し等の影響を伺う。

答　イベントや講演会等多くの事業が、中止や実施方法の変更を余儀なくされたが、影響は最小限に対処できたと思っている。今後は状況を注視しながら、国や県のガイドライン等を参考にし、新しい生活様式に対応した事業の実施に努めていきたい。

問　ロタウイルス[※3]ワクチン定期接種の周知の取組を伺う。

答　2年8月1日以降生まれた子どもが対象で、保健師による乳幼児全戸訪問時に保護者に予診票を渡しながら、直接説明し、周知を図っている。

問　高齢者等インフルエンザワクチン接種希望者に、行き渡る接種体制の取組を伺う。

答　一人でも多くの希望者が接種できる予算を確保し、医療機関には早めにワクチンを確保する働きかけをしている。

新型コロナウイルス感染症の影響と今後の対応策について／新磐田スマートICの設置について／入札妨害事件の再発防止に向けた取り組みについて

一問一答

日本共産党磐田市議団　根津康広　議員

新型コロナウイルス感染症の影響と今後の対応策

問 医療、福祉、保育、学校など集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員へ定期的なPCR検査等を行うことが求められているが、市の対応は。

答 各施設職員への定期的なPCR検査の実施は検討中である。

問 PCR検査センターの稼働実績と課題は。

答 7月から開設して8月末の時点で16回実施し、検査人数は185人である。課題は検査人数が増加した場合の対応である。

問 PCR検査センター拡充の検討状況は。

答 市で独自にできるかどうかも含めて検討中である。

問 市立総合病院における新型コロナウイルス感染症患者の受入れ状況と減収の実態、国、県の支援策の動向は。

答 県西部保健所の入院調整により、新型コロナウイルス感染症患者の受入れを行っている。受入れ患者数は、9月17日現在で合計15名である。なお、2年4月から7月までの入院・外来稼働額は前年と比べ3億9158万2千円、7・7%の減収である。国、県の支援策として、国の第2次補正予算で新型コロナウイルス感染症患者専用の病床を確保した場合に一定の要件のもと病床確保料が補助される見込みだが、減収分の全てを賄うことはできないと考える。

問 市立総合病院常勤医の時間外労働の実態は。

答 2年4月から7月までの月平均時間外数は38・2時間である。ただし、新型コロナウイルス感染症に関わる医師のうち数名は、月100時間を超えている。

磐田市立総合病院

新型コロナウイルス感染症の影響について／安心安全なまちづくりについて

一問一答

公明党磐田　鈴木喜文　議員

新型コロナウイルス感染症

問 新型コロナに対する「みんなにやさしいまちづくり宣言」への取り組みを伺う。

答 宣言の形はとらないが、不当な差別的言動等を受けることがないよう、誰もが安心して過ごせる地域社会を目指し、繰り返し啓発に取り組みたい。なお、シトラスリボン運動には取り組んでいきたい。

問 接触確認アプリ「COCOA」の活用を伺う。

答 利用推進に向けてホームページ等で周知に努める。陽性者と接触をしてアプリの通知を受けた方は、帰国者・接触者相談センターへ相談をし、PCR検査の対象となった場合、検査費用は公費負担する。

問 特別定額給付金の対象外となった新生児に給付金を支給する取り組みを伺う。

答 現段階で、市は給付金を支給する予定や考えはない。

問 開催できなかった高齢者サロン補助金への返金を伺う。

答 電話や訪問等で集まらなくてもできる活動を実施した場合でも補助対象としている。社会福祉協議会の補助事業で、相談窓口は社協になる。

安心安全なまちづくり

問 消防署移転協議の状況は。

答 現在地での建て替えは課題がある。候補地は中心市街地型と災害の影響を受けにくい郊外型を考える。面積の確保と現在地に近い利用が可能な公園や市民文化会館跡地が候補の1つで、郊外型は位置の選定と用地買収が必要となる。まずは、消防庁舎適正配置方針案策定を早急に進める。

磐田市消防署

問 東部幼稚園の今後の環境改善を伺う。

答 新園舎完成まで園生活に支障がないよう修繕等を行う。水遊びは小学校プールを上手に活用できるよう連携をとる。

情報化の推進について／公共施設使用料について／豪雨対策について

一問一答

志政会　岡實　議員

情報化の推進

問 教育情報化推進計画の基本的な考え方と進め方を伺う。

答 GIGAスクール構想の前倒しによって計画以上の整備が進み、LTE[※5]による1人1台端末の環境が実現することとなった。今後計画を見直し、わかる楽しい授業の創造と児童生徒の情報活用能力育成をさらに推進していきたい。

問 教員のICT活用能力の向上や指導力向上に向けた取組の現状、今後の予定を伺う。

答 各校のコンピュータ教育研究委員を中心に活用・促進を図っている。今後、管理職を中心に学校体制としてICTを活用した授業改善に取り組んでいく。現在のところ、全体としてのレベルアップや個々のスキルアップなど、目的に合わせた研修を計画している。

豪雨対策

問 竜洋排水機場は平成19年に2基更改したが、残り2基の早期更改の考え等を伺う。

答 2年度から7年度にかけて、全ポンプについてポンプ本体と電気設備のオーバーホール等の改修を予定している。

問 排水機場の遠隔監視・制御システム導入の考えを伺う。

答 既に5箇所の排水機場にシステムを導入している。排水機場の多くが老朽化し、システムの導入には多額の費用がかかるので、緊急時には市職員が運転を応援するなどして、地元部農会などの負担軽減に努めたい。

問 平成27年12月に提出された竜洋北地区農業排水路工事の要望書の進捗状況等を伺う。

答 39箇所のうち7箇所が終了し、進捗状況は17・9%である。今後も優先度や緊急性を考慮し要望に対応したいが、完成の見通しはついていない。

コロナ危機の教訓から持続可能な磐田市に向かって／法改正に伴うひきこもり家庭への訪問支援について

一括質問

志政会　絹村和弘　議員

持続可能な磐田市に向かって

問 自治体間競争から脱却し、市民の満足度を高める市政への転換が求められると思うが見解は。

答 今できることを着実に精いっぱい取り組むことで、多くの方に子育て、教育なら磐田とか、磐田市は住みやすい、暮らしやすいと思ってもらえることが人口減少社会に対応し、また、本市に住む方々の満足感や幸福感を高めることにつながるものと考えている。

問 働き場所・住む場所がなくなった弱者を支援する対応の現状と課題は。

答 住居確保給付金を受給しつつ求職活動を行っているケースが多い。課題は、保証人等を頼めず賃貸住宅への入居が困難な方、就労先が決まらない方がいることである。

問 SDGs[※6]活動を推進するに当たって、「気候非常事態宣言」をする考えは。

答 今後SDGsの取組を進める中で、国の動向なども注視しながら情報収集に努める。

問 市民や児童生徒たちと一体となったプロジェクト活動の展開をと考えるが見解は。

答 市民や児童生徒たちの環境に対する意識啓発にもなると考える。

ひきこもり家庭への訪問支援

問 市として専門員を配置し、アウトリーチできる体制にしてはと考えるが見解は。

答 相談員2名が訪問支援を含めた対応をしている。地域の協力者と連携しながら、状況に応じた訪問支援に取り組んでいきたい。

問 地域包括支援センター職員が情報を専門員に伝え、専門員が訪問支援を実施しては。

答 情報はこれまでにも寄せられている。今後さらに連携を強化し対応していきたい。

市民の利便性向上／みらいへの投資

一括質問

新磐田　寺田辰蔵　議員

市民の利便性向上

問 デマンド型タクシーの乗り継ぎの要望が多い。高齢者の健康づくりや行動範囲の広がり、交流のためにも、駅を活用した検討を伺う。

答 利用者の乗り継ぎの要望は十分把握している。思いは一緒である。利便性の向上はこれからも検討していくが、駅を拠点とした移動は、一般タクシーとの区別がつかなくなるため、現時点では制度上困難である。

みらいへの投資

問 平和事業に今までの代表派遣ではなく、感受性の強い中学生世代では全員が肌で感じることが大切である。今後の事業の在り方を伺う。

答 事業の進化は、語り部の話を聞くことも1つの方法だが、平和への思いが集まる8月6日の式典に出席し、平和の意義等を考えてもらうことが重要と思っており、引き続き派遣を考えている。次世代に平和への大切さを伝えるために、現在検討しているものもある。

問 コロナ禍で見えた医療体制の充実と整備は社会インフラの整備とともに、私たち一人一人に的確な医療が必要である。小さい頃からのデータを積み上げた医療提供ができる個人カルテの作成は重要である。この個人カルテの作成と医療体制の整備について考えを伺う。

答 情報を一元化し、医療機関同士で共有する仕組みは重要と認識している。個人情報を含んだ電子カルテの運用も視野に入れ、連携できるシステムの構築に向け、国や県の動向も注視し、研究していく。できるところをこれからも理想を追求し現実と合わせやっていく。

地域公共交通政策の諸課題／環境・防災対策の強化を／磐田市の諸課題

一問一答

日本共産党磐田市議団　高梨俊弘　議員

地域公共交通政策

問 路線バス存続を求める陳情署名が提出された。どう受け止め対応するのか見解は。

答 不安の声として大変重く受け止めている。バスを利用していた方には、可能な限りデマンド型乗合タクシー利用の理解を求めていきたい。

問 デマンド型乗合タクシーについて、具体的に10月からどのように改善するのか伺う。

答 目的地に既存のバス停を追加して、乗り換えを可能とする。また、朝7時と夕方5時、6時の便を追加する。

環境・防災対策

問 耐震補助金を申請者に代わって受け取ることができる代理受領制度に対する見解は。

答 本制度と同様の効果がある概算払制度を木造住宅耐震補強工事助成事業に導入している。現時点で必要性はない。

問 避難場所の感染症対策、運営の見直し状況は。

答 感染症対策は、国や県のガイドラインを参考に、市ホームページに掲載している。台風接近時の避難場所開設は、受入れ訓練を踏まえ、開設マニュアルを整備している。

諸課題

問 自治会所有のLED防犯灯は、自治会が将来にわたり維持管理するために補助事業が必要と考える。見解は。

答 LED化事業が完了した際、削減された電気料分を交換時期に備えて積立てすることを依頼しているため、現時点で補助制度は考えていない。

LED防犯灯

問 新型コロナウイルスとインフルエンザの同時流行に備えた対応は。

答 県や医療機関と連携して、体制整備に取り組んでいく。また、医療現場では、受診を電話予約したり、診療時間を分けるなどの取組をしている。

コロナ禍における税収見込みについて／生活保護制度について／ごみについて

一問一答

きずなの会　鈴木正人　議員

コロナ禍における税収見込み

問 3年度の税収見込みとその対策について伺う。

答 景気は極めて厳しい状況が続いており、3年度の税収見込みは減収となるものと考えている。収支不足については、これまで積み立ててきた基金の活用等により対応していきたい。

問 3年度の減収を見込んで、2年度の事業の中止や延期の予定について伺う。

答 市税収入等の減額が見込まれる状況を踏まえ、不要不急で緊急度が低いと判断される事業については、延伸や中止の検討を行うこととしており、2年度に着手を予定していた市民文化会館の解体工事については、3年度以降に延伸することを検討している。

ごみ

問 家庭から排出されるごみの減量を目的とした、ごみの有料化が近隣市において検討されているとの報道がある。本市において検討される予定があれば伺う。

答 本市のごみ排出量は市民の協力もあり、中長期的に見て減少傾向にあることから、現時点において有料化を検討する予定はない。

問 中遠広域一般廃棄物最終処分場（森町一宮）のホームページでは、埋立て期間が4年12月までとあり、5年1月からは、ごみが出せなくなるのではと心配する市民の声が聞かれる。このような市民の声に対してどのような対応をすべきなのか、本市の見解を伺う。

答 現在、中遠広域事務組合で最終処分の在り方について検証を進めているところであるため、その結果を踏まえ、最適な方法を選択していきたいと考える。

諸課題／テレワーク環境整備と移住促進事業／リモート授業の検証結果とふじのくに「ジュニア防災士」養成講座／防災・減災

一問一答

社民・明るい暮らしの会　虫生時彦　議員

諸課題

問 高齢者にエアコン設置助成及び電気料金の一部助成は。

答 県内で設置助成をしている市町はなく、県外の事例を調査研究していく。現在、電気料金の一部助成は難しい。

問 子育て支援センターと見付交流センターの複合化は。

答 現時点では、見付交流センターの敷地に子育て支援センター等を含む複合施設を建設する考えはないが、今後も見付地区への子育て支援センター設置について、候補地選定の調査・検討を進めていく。

テレワークと移住促進

問 テレワーク環境整備と移住促進策の充実は。

答 ワークピア磐田内にコワーキングスペースがあり、共用オフィス等の整備は考えていないが、企業等が設置する場合は支援していきたい。移住者向け住宅新築費用の助成や子育て中の移住者向け家賃助成の実施予定はないが、子育て支援施策を広報していく。

リモート授業

問 リモート授業検証結果は。

答 中学校では別室登校の生徒に対しリモート授業を行った。プリント学習より授業に参加している実感があり、学習意欲が高まったとの感想が聞かれ、児童生徒の実情に合わせてリモートによるつながりを持つことに効果があった。

防災・減災

問 新型コロナ感染症防止対策における避難場所の受入れ人数と入れない避難者等の対策は。

答 台風接近時に開設する11避難場所の感染症対策を踏まえた想定収容人数は、約1万人である。受入れの際は、体育館等を開放するが、状況に応じて順次、空き教室を案内し、施設全体を利用していく。

一般質問 用語解説

※1　フレイル（P11）
健常な状態と要介護状態の間に位置し、加齢とともに運動機能や認知機能等が低下した状態のことです。

※2　静岡SSUアスレジーナ（P12）
磐田市にある女子サッカークラブで、日本女子サッカーリーグに所属しています。旧名称は静岡産業大学磐田ボニータ。

※3　ロタウイルスワクチン（P13）
乳幼児期（0～6歳ころ）にかかりやすい急性の胃腸炎の病原体であるロタウイルスの感染を防ぐために使うワクチンのことです。

※4　GIGAスクール構想（P15）
GIGAとは Global and Innovation Gateway for All の略で、小学校の児童、中学校の生徒1人に1台の学習用パソコンと高速ネットワーク環境などを整備する計画のことです。

※5　LTE（P15）
Long Term Evolution の略です。スマートフォンや携帯電話用の通信回線規格無線で、LTEに対応したスマートフォンやタブレットなどで利用できます。メリットは外で利用しても電波が安定していることであり、デメリットは、データ通信には上限が設けられていて、その上限を超えると通信スピードが遅くなることです。

※6　SDGs（P15）
2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール、169のターゲットで構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

Topics①

8/25 特別委員会研修会を開催しました

磐田市民文化会館跡地及び今之浦市有地等利活用特別委員会では、静岡文化芸術大学名誉教授の川口宗敏氏を講師として迎え、「将来を見据えた魅力的な公共施設（建築）について」と題した研修を行いました。

市民文化会館跡地等には、長期的な予測視点に立って、自然災害やコロナウイルス禍といった社会変化に対応できる施設にしていく必要がある点について、提案プランを伺い、認識を深めました。

9/7 議場に防災用ヘルメットを配置しました

発生の恐れがある地震に備え、議場の議席や傍聴席などに防災用ヘルメットを備えました。

ヘルメットは折りたたみ式になっています。緊急時にはご活用ください。

Topics②

11/2 議員研修会を開催しました

本市の消防活動の現状を知ることを目的に、全議員を対象とした議員研修会を実施しました。

「派遣職員の成果と消防体制の現状」をテーマに磐田市消防本部の職員３名を講師に招き、組織体制や火災・救急対応の現状、課題などの報告を受け、お互いに理解を深めました。

Information

映像による議会報告会をご覧ください

例年市議会では市民に開かれた議会を目指し、議会報告会を開催しています。

２年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市議会ホームページで映像配信中ですので、ぜひご覧ください。

磐田市議会 報告会　検索

○主な内容

- ●新型コロナウイルス感染症対応報告
- ●予算決算委員会からの報告
- ●総務委員会からの報告
- ●民生教育委員会からの報告
- ●建設産業委員会からの報告
- ●特別委員会からの報告

○ご意見をお寄せください

議会報告会についてのご質問、ご意見がありましたら、「ご意見ポスト」までお寄せください。

「ご意見ポスト」は、磐田市役所本庁舎１階と５階に設置しています。

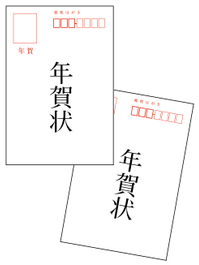
なお、ホームページからもお寄せいただくことができます。

磐田市議会 ご意見　検索

政治家の年賀状は禁止されています

公職選挙法により、議員は選挙区内の人に対して、年賀状などのあいさつ状（答礼として自筆によるものを除く）を出すことが禁じられています。

市民の皆様のご理解をお願いいたします。



声の議会だより（CD）をご利用ください

視覚障がいのある方のため、声による議会だよりをお届けしています。ご希望の方は、議会事務局までご連絡ください。

磐田市議会だより　いわた羅針盤　No.78　2020.12.01
発行／磐田市議会　編集／市議会広報広聴委員会
〒438-8650 磐田市国府台3-1
TEL.0538-37-4822　FAX.0538-37-4845
https://www.city.iwata.shizuoka.jp/shigikai/index.html
メールアドレス gikai@city.iwata.lg.jp

審議結果

■全会一致により可決・認定・同意された議案

(1) 「新型コロナウイルス感染症を、市民みんなで力を合わせ乗り越えていく決意」を市民に呼びかける決議
(2) 元年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分
(3) 〃　下水道事業会計未処分利益剰余金の処分
(4) 〃　駐車場事業特別会計歳入歳出決算
(5) 〃　国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
(6) 〃　後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
(7) 〃　介護保険事業特別会計歳入歳出決算
(8) 〃　広瀬財産区特別会計歳入歳出決算
(9) 〃　岩室財産区特別会計歳入歳出決算
(10) 〃　虫生財産区特別会計歳入歳出決算
(11) 〃　万瀬財産区特別会計歳入歳出決算
(12) 〃　水道事業会計決算
(13) 〃　下水道事業会計決算
(14) 〃　病院事業会計決算
(15) 元年度浅羽地域湛水防除施設組合会計歳入歳出決算
(16) ２年度一般会計補正予算（第５号）
(17) 〃　国民健康保険事業特別会計補正予算（第２号）
(18) 〃　介護保険事業特別会計補正予算（第１号）
(19) 〃　病院事業会計補正予算（第２号）
(20) 職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正
(21) 印鑑条例の一部改正
(22) 駐車場条例の一部改正
(23) 介護保険条例の一部改正
(24) 財産の譲渡
(25) 財産の取得
(26) 財産の取得
(27) 財産の取得の変更
(28) 人権擁護委員の候補者推薦
(29) 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

■意見の分かれた議案

件名＼会派名	志政会 12人(※)	新磐田 4人	きずなの会 4人	日本共産党磐田市議団 2人	公明党磐田 2人	社民・明るい暮らしの会 1人	結果
元年度一般会計歳入歳出決算	○	○	○	×	○	○	認定

※志政会の会派人数は 12 人ですが、採決は寺田幹根議長を除いた 11 人で行います。　○：賛成　×：反対

■その他

(1) 市議会議員の派遣

11月定例会の予定

（11月24日～12月18日）

日	月	火	水	木	金	土
11/22	23	24 本会議（議案上程）	25 本会議（先議採決）	26	27	28
29	30	12/1 本会議（代表質問）	2 本会議（代表質問）	3 本会議（一般質問）	4 本会議（議案質疑）	5
6	7 予算決算委員会分科会（審査）常任委員会（審査）	8 予算決算委員会分科会（審査）常任委員会（審査）	9 予算決算委員会分科会（審査）常任委員会（審査）	10	11	12
13	14 予算決算委員会（採決）	15	16	17	18 本会議（採決）	19

※いずれも午前10時から
日程は変更する場合もあります。代表質問・一般質問を行う会派議員の順番や内容につきまして11月30日(月)にホームページ上で公開を予定しております。また、聴覚障がい者の皆さまの議会傍聴のため、手話通訳者や要約筆記者の派遣等を行っています。ご希望の方は、事前に議会事務局(電話0538-37-4822、ファックス0538-37-4845)までお問い合わせください。

次回は2月1日発行予定です。

表紙の写真

静岡県立磐田西高等学校　2年生
北野（きたの）　瑞樹（みずき）さん

このご時世で多くの試合が中止になりましたが、いろいろな配慮をして開かれたこの大会に、選手たちは気合と緊張感を持って挑みました。先制点を決め良い雰囲気で前半が終わり、後半では１点取られてしまいましたが、４対１と勝利を掴むことができました。先輩たちが切り開いた道を、今度は後輩である私達が、追い越せるよう、未来への一歩を踏み出しました。

編集後記

猛暑の夏が過ぎ、朝晩の寒さが身に染みる季節となりました。コロナ禍は、家族や友人との関わり方、仕事や趣味への取り組み方など、これまでの当たり前について考え直す機会にもなりました。季節が移り変わるように、生活や地域社会も新しい様式へと、上手に変化することが出来るよう、議会として力を尽くせればと思います。

（松野正比呂）

【広報広聴委員会】
■委員長：岡　實　■副委員長：小柳貴臣
■委　員：江塚　学、戸塚邦彦、加藤文重、松野正比呂、高梨俊弘